

2010年度助成研究一覧表

(2010年度の研究助成状況の解説については、基金ニュースをご覧ください。)

分野	番号	区分	氏名	所属	研究テーマ	助成金額
						(千円)
大気	1	一般	永長 久寛	九州大学大学院 総合理工学研究院	原位置浄化型省エネルギーVOC触媒分解プロセスの開発(継続)	1,500
	2	一般	須賀 一彦	大阪府立大学大学院 工学研究科	大気環境保全技術を低コスト化する排触媒装置の超小型化に関する研究(継続)	1,500
	3	一般	今中 信人	大阪大学大学院 工学研究科	立方晶C型希土類複合酸化物を基盤とする新規なNOx浄化触媒の開発	1,500
	4	一般	上田 厚	(独)産業技術総合研究所 ユビキタスエネルギー研究部門	鉄鋼原料および製品輸送用船舶におけるNOx排出抑制のための水素脱硝技術に関する研究	1,280
	5	一般	坪内 直人	東北大学 多元物質科学研究所	石炭利用時のフッ化水素の発生挙動の解明と安価な高温ガス精製法の確立	1,500
	6	一般	忽那 周三	(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門	代替フロン加水分解反応速度再評価と省エネルギー処理システムの提案	1,390
	7	若手	飯島 明宏	高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科	固定発生源起源粒子状物質の環境影響評価に適した新たな指標の探索(継続)	1,000
	8	一般	小林 剛	横浜国立大学安心・安全の科学 研究教育センター	大気SPM・PM2.5中六価クロムの発生源・大気中挙動調査とリスク評価(継続)	1,000
	9	一般	成瀬 一郎	名古屋大学大学院 工学研究科	還元雰囲気における微量金属成分の濃縮機構解明と炉内捕捉技術の開発	1,500
	10	一般	谷 晃	静岡県立大学 環境科学研究所	SPM生成に関与する反応性VOCの植物による放出・吸収能力の評価と、反応性VOC濃度低減を目指した緑化樹木の選択	1,500
	11	若手	藪下 彰啓	京都大学大学院 工学研究科	長距離輸送された有害物質を含む粒子状汚染物質の単一粒子組成の高時間分解観測(継続)	1,000
	12	一般	反町 篤行	(独)放射線医学総合研究所	東アジアにおける超微小粒子の物質循環に関する研究	1,500
	13	一般	鳥羽 陽	金沢大学 医薬保健研究域	東アジアにおける大気粉じん中有機汚染物質の粒径別分布と変質反応	1,300
	14	一般	寺門 修	名古屋大学大学院 工学研究科	微小液滴を用いた高効率PM除去プロセスの基礎研究	1,500
	15	一般	二宮 善彦	中部大学 工学部	石炭燃焼によって発生するPM2.5の低減に関する研究(継続)	1,000
	16	若手	児玉谷 仁	鹿児島大学大学院 理工学研究科	有機水銀の選択的高感度分析システムの開発	960
	17	一般	大畑 昌輝	(独)産業技術総合研究所 計測標準研究部門	大気環境中のニッケル化合物の化学形態および存在形態のリアルタイム分析法の開発	1,500
	18	一般	川田 邦明	新潟薬科大学 応用生命科学部 応用生命科学科	鉄担持活性炭を用いた有機ハロゲン化合物の吸着分解複合処理	1,500
	19	一般	西村 文武	京都大学大学院 工学研究科	オゾン間欠ばつ気型生物学的反応器による生物難分解性・生物活性阻害物質含有廃水の効率的処理	1,500
	20	一般	谷口 善仁	慶應義塾大学 医学部	メタロチオネイン欠損メダカと重金属無毒化の機構	1,500
	21	一般	井伊 博行	和歌山大学 システム工学部 環境システム学科	高濃度の垂鉛を含む鉱山酸性排水の海辺生物への影響評価	1,500
	22	一般	兼松 秀行	鈴鹿工業高等専門学校 材料工学科	実験細胞を用いた垂鉛等重金属の環境リスク評価と熱処理合金化による環境負荷低減技術の開発研究(継続)	1,000
				大阪府立大学大学院	重金属類の毒性評価に有用な神経系細胞培養系の開発	

水質	23	若手	森 英樹	理学系研究科	(継続)	1,000	
	24	若手	三上 貴司	鶴岡工業高等専門学校 物質工学科	晶析工学を基軸とした資源循環型重金属イオン回収プロセスの開発	500	
	25	若手	松浦 博孝	熊本大学大学院 自然科学研究科	重金属イオンを高速度で吸着するイミノニ酢酸型キレート繊維の開発と重金属含有水の高速度浄化への応用	940	
	26	若手	宮脇 崇	福岡県 保健環境研究所	緊急時土壌汚染調査用の迅速測定技術の開発(継続)	1,000	
	27	一般	今坂 藤太郎	九州大学大学院 工学研究院	土壌中に存在する環境汚染物質の網羅的分析法の研究	1,500	
	28	若手	内村 智博	九州大学大学院 工学研究院	土壌中油成分の一斉分析法の開発	1,000	
	29	一般	前島 正義	名古屋大学大学院 生命農学研究科	亜鉛の植物への集積機構解明と土壌改善の応用展開	1,500	
	30	若手	稲積 真哉	京都大学大学院 工学研究科	廃棄物処分場における鋼管矢板式遮水・浄化促進型埋立護岸の構築に関する研究	1,000	
	31	一般	山崎 博人	宇部工業高等専門学校 物質工学科	亜硝酸化生物処理と亜臨界水熱処理による消滅型の高濃度アンモニア成分の除去技術の開発(継続)	1,500	
	32	一般	池本 良子	金沢大学理工研究域 環境デザイン学系	生物ろ床による有機性排水の嫌氣的脱窒法の開発(継続)	1,500	
	33	若手	林 瑠美子	東京大学 環境安全本部	超臨界水酸化反応による含窒素化合物の分解における処理温度の低温化及び亜酸化窒素生成抑制手法の検討	1,000	
	34	若手	早川 敦	秋田県立大学 生物資源科学部	黄鉄鉱含有鉱山地帯の渓流域における窒素流出特性(継続)	1,000	
	35	一般	左山 幹雄	(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門	富栄養化内湾堆積物からの硫化物溶出抑制機構(継続)	1,000	
	副産物	36	一般	米田 稔	京都大学大学院 工学研究科	鉄鋼スラグ製品のリスク評価とリスク低減化手法の開発	1,500
		37	一般	井上 亮	東北大学 多元物質科学研究所	難溶性化合物の生成による二次精錬スラグおよび特殊鋼スラグの無害化(継続)	1,500
38		一般	佐藤 努	北海道大学大学院 工学研究科	様々な利用環境における鉄鋼スラグの長期変質挙動予測モデルの開発	1,500	
39		一般	綾野 克紀	岡山大学大学院 環境学研究科	高炉スラグを活用した耐硫酸性コンクリートの製造技術に関する研究	1,500	
40		一般	坂井 悦郎	東京工業大学大学院 理工学研究科	転炉スラグを用いたセメント系材料の新しい合成法と既存技術の統合化	1,500	
41		一般	澁谷 啓	神戸大学大学院 工学研究科	鉄鋼スラグを用いた環境にやさしく地盤に強い盛土工の研究開発(継続)	1,500	
42		若手	菊本 統	名古屋工業大学大学院	地盤材料としての合理的活用に向けた鉄鋼スラグの構成モデルの開発	1,000	
43		一般	尾崎 則篤	広島大学大学院 工学研究院	生活排水に由来する溶存有機物の鉄への結合性が鉄の生物利用性に及ぼす影響	1,500	
44		一般	高橋 美穂	東京海洋大学 海洋科学部海洋環境学科	鉄鋼スラグの海水中でのケイ素・鉄の化学種分析による環境への影響と資化性の検討(継続)	1,500	
45		一般	山本 光夫	東京大学 教養学部附属教養 教育高度化機構	鉄鋼スラグと腐植物質による藻場再生技術の効果継続性と環境影響評価	1,500	
46		一般	北村 信也	東北大学 多元物質科学研究所	鉄鋼スラグに含まれる有価金属の回収技術(継続)	1,000	
47		若手	柏倉 俊介	東北大学 金属材料研究所	石炭フライアッシュからのレアアースの回収プロセスの開発	1,000	
48		一般	入谷 英司	名古屋大学大学院 工学研究科	可逆凝集を用いたステップ超高压圧搾による鉄鋼スラグの高速減量化技術の開発(継続)	1,500	
49		一般	有山 達郎	東北大学 多元物質科学研究所	3元系構造の機能性塊成物による低炭素高炉用高速還元体の創製	1,500	
50		一	葛西 栄輝	東北大学	製鉄プロセスからのCO2発生量極小化への超高压還元	1,000	

地球環境	一般		多元物質科学研究所	の適用可能性(継続)		
	51	一般	林 昭二	名古屋工業大学大学院 工学研究科	多量水素利用型低炭素高炉製鉄プロセスの反応挙動解明と評価	1,500
	52	若手	福重 真一	大阪大学大学院 工学研究科	グローバル経済における持続可能な鉄鋼資源循環モデルの構築	940
	53	一般	奥村 幸彦	舞鶴工業高等専門学校 電子制御工学科	バイオマス/コークスガスの液体燃料化と化学原料高度利用法の構築	1,500
	54	一般	松田 祐介	関西学院大学 理工学部	海洋珪藻類の鉄欠乏と鉄施肥への応答機構の解明とその利用(継続)	1,500
	55	一般	陸田 秀実	広島大学大学院 工学研究院	鉄鋼スラグからの溶出物による二酸化炭素固定化能	1,500
エコプロ	56	一般	岡田 清	東京工業大学 応用セラミックス研究所	ロータスセラミックスを用いたスラグの改質と二酸化炭素固定	1,500
	57	一般	加茂 徹	(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門	バイオマス由来溶媒を用いた使用済み電気電子機器からの資源回収とコークス炉原料化(継続)	1,000
	58	一般	山末 英嗣	京都大学大学院 エネルギー科学研究科	廃棄物産業連関法を用いた自己解体材料導入の評価研究	1,500

合計 58件 75,310千円

うち、一般 : 44件 61,970千円

若手 : 14件 13,340千円

分野別内訳

大気関係	17件	22,430千円
水質関係	18件	21,440千円
副産物関係	13件	18,000千円
地球環境関係	8件	10,940千円
エコプロセス関係	2件	2,500千円